



平成22年9月
 広島市立南観音小学校
 発行者 養護教諭 花原

おうちの人と一緒に読みましょう

今月の保健目標：しなくてよいけがをふせごう

2376人 これは何の数字かな？

答え：4月～7月にけがをして保健室に来た人の数です。すりむいたり、ぶつかったり…保健室には毎日いろいろな人がけがの手当てにやってきます。どうしたらけがをしないですか、考えてみましょう。



ある日の保健室で

膝をすりむいた A くんに話を聞いてみると

…

「大きゅうけいが終わったから、急いで教室に帰ろうとして、走っていたらこけた。キャッチボールをしながらだっか室で走っていた。」

ボールに気を取られて足元がお留守になっていました。キャッチボールは広い場所で楽しむようにしましょう。

指を押さえてきた B さん。血が出ているみたいです…

「図工の時間、彫刻刀で板を削っていたら指を切りました。先生から気をつけるように言われたのに。」

血の出たところを押さえて、応急手当はできていました。彫刻刀の通り道には手を置かないようにしましょう。

段差のあるところではよ見をして走ったり、彫刻刀やカッターの通り道に指を置いてしまったり、廊下や教室を走ってしまったり…「つい、うっかり」が、けがにつながっていることがたくさんあります。もし、けがをしてしまったら「どうしてそうなったのか」原因をよく考えてみましょう。「危なかったな」とヒヤッとした時にも、不注意に気付き、次のけがを防ぎましょう。

「うっかり」してしまうのはどんな時？

たとえば、先生の話をよく聞いていなかったときや友だちとふざけているとき。急いでいる時や疲れているときにも注意力がなくなります。

時間と気持ちのゆとりを持って行動することも大切です。

～6日から保健室の先生が2人に～

6日から3週間、保健室の先生になる勉強をするため、教育実習生さんが来られます。どうぞよろしくお願ひします。

